No.436

広報 みぶ

7年 9月

最優秀賞の写真右より
疋田さん、外塚さん
(前田さんは都合により欠席)

こども米料理コンクール

たくさんの アイディア料理登場

「地域米消費拡大対策事業」の一環として「こども米料理コンクール」が8月23日、壬生中央公民館で行われ、小学1年から中学3年まで9組の小・中学生が参加しました。

こどもたちは手際よく調理を始め、アイディアいっぱいの米料理が次々と完成、どれも甲乙つけがたいレベルの高いコンクールとなりました。

最優秀賞　「ライスバーグ、フライライス、ぎょうざライス」
・疋田綾子、外塚順子、前田知美(壬生小6年)

優秀賞　「ごはん入りチーズ春巻き」
・植木紫乃、飯野由記、木野内由美子、篠原里美(壬生中3年)

発行　壬生町役場　編集 総務部企画財政課　毎月15日発行　〒321-02 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　☎0282-82-1234

第10回 国民文化祭・とちぎ95

やさしさの森を世界に

会期 平成7年10月27日(金)▶11月5日(日)

壬生町では『国際おもちゃフェスティバル』開催

10月27日～11月4日

文化の国体といわれる国民文化祭が、10月27日から11月5日までの10日間、栃木県内22市町45会場において開催されます。壬生町では、おもちゃ博物館、総合公園を会場に『国際おもちゃフェスティバル』が行われます。

『国際おもちゃフェスティバル』は、〝おもちゃの森に歓声が〟こだま〝する〟をサブテーマに、〝遊び〟のなかで取り入れられた手作りおもちゃの全国公募作品の展示をはじめ、子どもから大人まで楽しめるフェスティバルを開催し交流を図る場とするため、屋内と屋外の二つの空間を舞台にたくさんのイベントを予定しています。

では、この中からいくつかのイベントを紹介します。

展示会場となる壬生町おもちゃ博物館

【屋内部門】(会場：おもちゃ博物館)

～学びの森コーナー～

全国から集められた、たくさんの手作りおもちゃの中から厳正な審査の結果、選ばれた優秀な作品をおもちゃ博物館に展示し、入賞作品を表彰するほか、外国おもちゃの展示やおもちゃのできるまでを映像やパネルで紹介します。

【屋外部門】(会場：総合公園)

～ふれあいの森コーナー～

唄のお姉さんとタローと仲間たちショーや中国雑技団公演、ちびっ子クイズショー、そしてゲストに有田気恵さんを迎えてのトークショーなどが繰り広げられます。

～体験の森コーナー～

手作りおもちゃ教室や会場巡回のロードトレイン、ファファスーパーマリオ、ボールの海、そしてビー玉・メンコなどを使った遊びのコーナーなどが催されます。

ほかに、町文化協会による野点・菊の展示や町各種協力団体の催し、藤井小学校児童の「かんぴょう音頭」や国谷幼稚園園児の「マーチングバンド」、壬生寺保育園園児の「円仁太鼓」などのステージイベントが繰り広げられます。

このように、いろいろな事業を催しますので、ぜひ一度、会場に足を運んでみてください。

※フェスティバル期間中は、おもちゃ博物館の入場料は無料になります。(日によっては、入場を制限する場合がありますので、ご了承ください)

シャトルバスをご利用ください

フェスティバル期間中、おもちゃのまち駅東口からフェスティバル会場（おもちゃ博物館、総合公園）まで、シャトルバスを運行しますのでご利用ください。（無　料）

シャトルバス運行予定表

◆10月27日（金）、10月30日（月）、10月31日（火）
11月１日（水）、11月２日（木）

おもちゃのまち駅東口→総合公園

おもちゃのまち駅	総合公園
9：10	9：25
10：30	10：45
11：10	11：25
11：50	12：05
13：10	13：25
13：50	14：05
14：30	14：45
15：10	15：25
15：50	16：05
16：30	16：45

総合公園→おもちゃのまち駅東口

総合公園	おもちゃのまち駅
10：10	10：25
10：50	11：05
11：30	11：45
12：10	12：25
13：30	13：45
14：10	14：25
14：50	15：05
15：30	15：45
16：10	16：25
16：50	17：05

◆10月28日（土）、10月29日（日）
11月３日（金）、11月４日（土）

おもちゃのまち駅東口→総合公園

おもちゃのまち駅	総合公園
9：10	9：25
10：00	10：15
10：30	10：45
10：50	11：05
11：10	11：25
11：30	11：45
11：50	12：05
12：10	12：25
13：10	13：25
13：30	13：45
13：50	14：05
14：10	14：25
14：30	14：45
14：50	15：05
15：10	15：25
15：30	15：45
15：50	16：05
16：10	16：25

総合公園→おもちゃのまち駅東口

総合公園	おもちゃのまち駅
10：10	10：25
10：30	10：45
10：50	11：05
11：10	11：25
11：30	11：45
11：50	12：05
12：10	12：25
12：30	12：45
13：30	13：45
13：50	14：05
14：10	14：25
14：30	14：45
14：50	15：05
15：10	15：25
15：30	15：45
15：50	16：05
16：10	16：25
16：30	16：45

『国際おもちゃフェスティバル』会場案内

学びの森コーナー

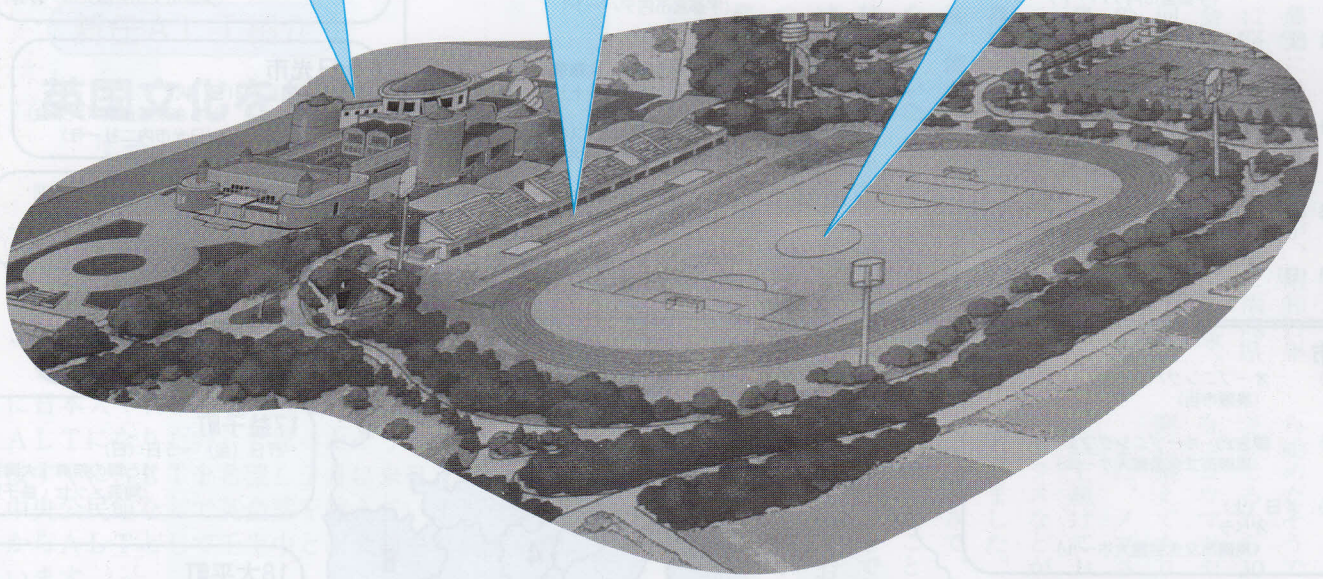
（おもちゃ博物館）
手作りおもちゃ全国公募優秀作品のほか、外国おもちゃを展示します。

ふれあいの森コーナー

（総合公園）
唄のお姉さんとタローと仲間たちショーや中国雑技団の公演などが行われます
また、有田気恵トークショーや町関係団体によるステージイベントが繰り広げられます。

体験の森コーナー

（総合公園）
手作りおもちゃ教室や会場を回るロードトレイン、ボールの海やビー玉・メンコを使った遊びが体験できます。



『国際おもちゃフェスティバル』イベント予定

		10／27日 金	28日 土	29日 日	30日 月	31日 火	11／1日 水	2日 木	3日 金	4日 土
屋内（おもちゃ博物館）		・オープニングセレモニー 9：15～9：30		常設展→おもちゃのできるまでを映像・パネル展示で紹介 企画展→外国おもちゃの展示 公募作品展→入選作品２００点程度を展示 9：30～16：00						
屋外（総合公園陸上競技場）	テント内等	←―〈手作りおもちゃ教室〉―→ ①11：00～12：00 ②14：30～15：30			←―〈手作りおもちゃ教室〉―→ ①11：00～12：00 ②14：30～15：30	遊びのコーナー メンコ・ビー玉・木のおもちゃ等を使って遊ぶ 9：30～16：00				
	ステージ	←―〈クイズショー〉―→ 遊びのコーナー紹介＋クイズショー ①10：30～11：30 ②13：30～14：30	←―〈唄のお姉さんとタローと仲間たちショー〉→ 動物のぬいぐるみの演奏 ①10：00～10：30 ②13：00～13：30	〈町関係団体出演〉 藤井小・国谷幼稚園・壬生寺保育園の３団体の演技 10：30～11：30 〈表彰式等〉 11：30～13：00 〈中国雑技団公演〉 14：00～15：00		←―〈クイズショー〉―→ 遊びのコーナー紹介＋クイズショー ①10：30～11：30 ②13：30～14：30			←―〈唄のお姉さんとタローと仲間たちショー〉→ ①10：00～10：30 ②13：00～13：30 〈町関係団体出演〉 ３団体の演技 10：30～11：30 〈トークショー〉 出演予定有田気恵 ①11：30～12：00 ②14：00～14：30	
	常設	←―ファファ・ロードトレイン・ボールの海 期間中毎日								
	その他		〈競技会〉 輪投げ大会 15：00～16：00	外国人パフォーマーの演技					外国人パフォーマーの演技 〈競技会〉 輪投げ大会 15：00～16：00	閉会セレモニー 15：00～16：00 〈町関係団体出演〉 藤井小・壬生寺保育園の２団体の演技を含む）
		←―野点―→		←―野点―→					←―野点―→	
		←―模擬店―→								

第10回国民文化祭・とちぎ95開催地マップ

1 宇都宮市
・27日（金）　オープニングパレード（宇都宮市街）
・27日（金）　開会式・オープニングフェスティバル（栃木県総合文化センターメインホール）
・27日（金）～5日（日）　美術展（洋画・工芸）（栃木県総合文化センターギャラリー）　美術展（書道・写真）（宇都宮市内デパート）
・28日（土）～3日（金）　生活文化総合フェスティバル（栃木県立宇都宮産業展示館）
・28日（土）～5日（日）　工業デザインフェスティバル（宇都宮市体育館）
・29日（日）　邦楽の祭典（栃木県総合文化センターメインホール）
・29日（日）　オーケストラの祭典（宇都宮市文化会館大ホール）
・29日（日）　文芸祭（川柳）（栃木会館小ホール）
・1日（水）～2日（木）　とちぎ能楽祭（栃木県総合文化センターメインホール）（薪能）（栃木県中央公園等）
・1日（水）～5日（日）　生活文化総合フェスティバル（全国駅弁フェスティバル）（宇都宮市内デパート）
・2日（木）～4日（土）　とちぎ茶華道祭（大華展）（宇都宮市内デパート）
・3日（金）　バレエ・モダンダンス祭（宇都宮市文化会館大ホール）
・5日（日）　全国吟詠剣詩舞道祭（宇都宮市文化会館大ホール）
・5日（日）　閉会式・グランドフィナーレ（栃木県総合文化センターメインホール）

2 黒磯市
・27日（金）　オープニングパレード（黒磯市街）
・27日（金）　開会式・オープニングフェスティバル（黒磯市文化会館大ホール）
・29日（日）、4日（土）　オペラ（黒磯市文化会館大ホール）

3 塩原町
・31日（火）　シンポジウム「リゾートライフと文化活動」（塩原町文化会館ホール）

4 西那須野町
・27日（金）～5日（日）　美術展（野外彫刻展）（にしなすの運動公園）

5 大田原市
・27日（金）～29日（日）　那須与一フェスティバル（那須野が原ハーモニーホール）
・31日（火）～5日（日）　竹と陶の祭典（大竹芸祭）（那須野が原ハーモニーホール）

6 黒羽町
・28日（土）～29日（日）　文芸祭（俳句）（芭蕉の里文化複合センター等）
・30日（月）　文芸祭（連句）（黒羽町民体育館）

7 藤原町
・4日（土）　郷土芸能大集合（藤原町総合文化会館）

8 矢板市
・29日（日）～30日（月）　文芸祭（短歌・合同大会）（矢板市文化会館大ホール）
・4日（土）～5日（日）　演劇・人形劇祭（矢板市文化会館大ホール等）

9 日光市
・30日（月）～31日（火）　とちぎ茶華道祭（大茶会）（日光市内二社一寺）

10 今市市
・4日（土）　合唱祭（今市市文化会館大ホール）

11 河内町
・3日（金）　とちぎ夢の大舞踏会（河内町総合体育館）

12 烏山町
・3日（金）　郷土芸能大集合（烏山町山あげ会館前広場等）

13 鹿沼市
・28日（土）～5日（日）　全国演芸フェア（鹿沼市花木センター）
・29日（日）　日本舞踏の祭典（鹿沼市民文化センター大ホール）

14 壬生町
・27日（金）～4日（土）　国際おもちゃフェスティバル（壬生町おもちゃ博物館等）

15 栃木市
・27日（金）～30日（月）　世界楽器フェスティバル（栃木市文化会館大ホール）

16 真岡市
・28日（土）　吹奏楽の祭典（真岡市民会館大ホール等）

17 益子町
・27日（金）～5日（日）　竹と陶の祭典（大陶芸祭）（陶芸メッセ・益子）

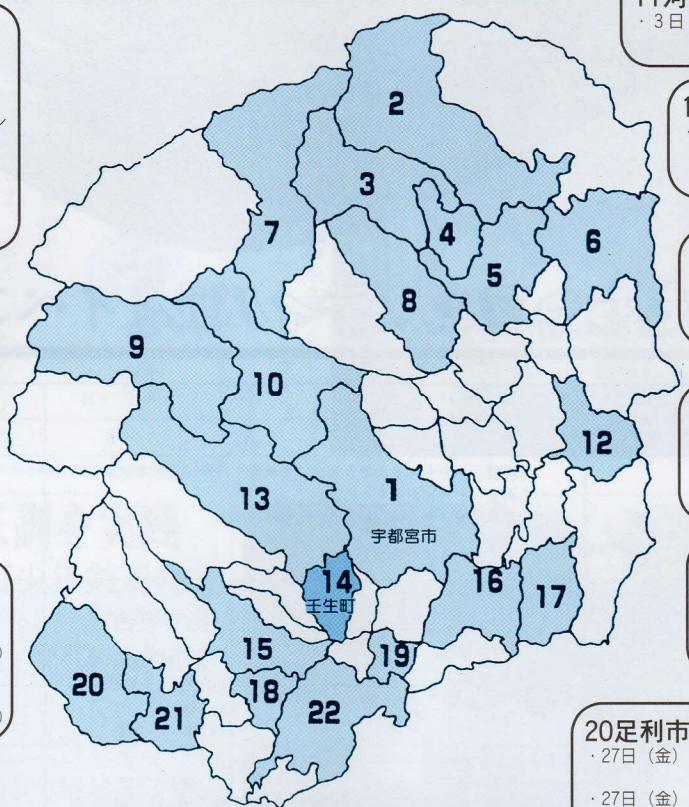
18 大平町
・3日（金）～4日（土）　全国映像の祭典（おおひら町民ホール）

19 南河内町
・28日（土）　シンポジウム「古代の地方文化」（自治医科大学地域医療情報研修センター大講堂）

20 足利市
・27日（金）　オープニングパレード（足利市内）
・27日（金）　開会式・オープニングフェスティバル（足利市民会館大ホール）
・27日（金）～5日（日）　美術展（日本画）（足利市立美術館）
・29日（日）　文芸祭（現代詩）（足利市民プラザ文化ホール等）
・2日（木）～3日（金）　国際ジャズフェスティバル（足利市民会館大ホール）

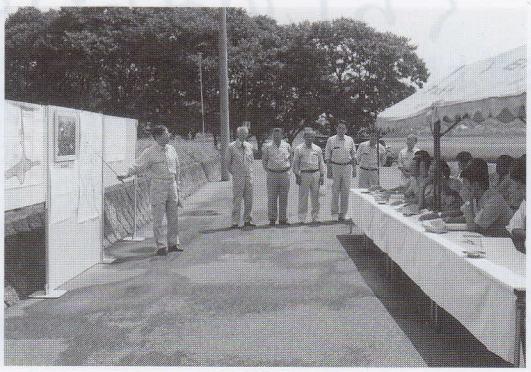
21 佐野市
・28日（土）　ファッション・イン・とちぎ（佐野市文化会館大ホール）
・31日（火）、3日（金）～4日（土）　演芸祭（佐野市文化会館大ホール等）

22 小山市
・29日（日）　民謡・民舞の祭典
・5日（日）　シンポジウム「道と文化」（小山市立文化センター大ホール）



県議会土木委員会が現地調査

北関東自動車道（仮称）壬生ＩＣにアクセスする幹線道路の早期整備を要望



栃木県議会土木委員会（川崎和郎委員長ほか8名）と県関係者の一行が8月24日、（仮称）壬生インター線の現地調査のため（仮称）壬生ＩＣ予定地を訪れました。

調査箇所は、県道宇都宮・栃木線と北関東自動車道（仮称）壬生ＩＣにアクセスする幹線道路であるとともに、町振興計画における国谷地区周辺整備の核となる路線になっております。このため、県道羽生田・上蒲生線と（仮称）壬生ＩＣを結ぶ路線（５００ｍ）の早期整備を要望するものです。

この日は、清水町長ほか町執行部をはじめ、地元の佐藤県議、町議会から松井副議長が出席し、清水町長が現地の状況や要望路線の説明をして本路線の早期整備をお願いしました。

このほか、次の4か所も早期着工を要望しています。

①〔道路改良〕助谷地内の県道上田・壬生線８００ｍ

②〔道路改良〕鯉沼・国谷地内の県道羽生田・上蒲生線１,３００ｍ

③〔街路整備〕国谷地内の県道宇都宮・栃木線２、０００ｍ

④〔道路改良〕今井地内の県道宇都宮・栃木線延長１、９５０ｍ

平和講演＆映画のつどい

平和の尊さを改めて考える

町並びに町教育委員会主催による平和講演＆映画のつどいが8月6日（日）、壬生中央公民館で開かれました。

当日は、記念映画「十六地蔵物語」を上映、戦争の悲惨さを認識した後、清水町長が「戦後50年を振り返り、平和について新たに考える機会としてほしい」とあいさつ、続いて法政大学の杉山茂雄教授の「日本と国連…50年間を振り返って…」と題した講演が行われ、平和の尊さを改めて考える機会となりました。

平成７年度　経営事項審査及び入札資格審査日程

平成７年度栃木県経営事項審査及び建設工事、測量・建設コンサルタント等業務入札資格審査日程が、次のように決まりましたのでお知らせします。

第１期　県内の建設業者及び測量・建設ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ等業者で営業年度(決算期)の終了が1月から6月まで、及び10月から12月までの業者

受付			受付対象業者	受付時間		受付場所			受付区分	
月	日	曜		午前	午後	名称	所在地	電話番号	午前	午後
10	30	月	栃木土木事務所管内	9:00～11:00	1:00～3:00	下都賀庁舎　福利厚生棟	栃木市神田町6-6	栃木土木☎23-3433	商号（名称）の頭文字が「あ」、「う」、「え」	商号（名称）の頭文字が「い」
	31	火	〃	〃	〃	〃　〃	〃	〃	「お」	「か」、「こ」
11	1	水	〃	〃	〃	〃　〃	〃	〃	「き」～「け」、「し」	「さ」
	2	木	〃	〃	〃	〃　〃	〃	〃	「す」～「そ」 「ち」～「て」	「た」
	6	月	〃	〃	〃	〃　〃	〃	〃	「と」、「な」	「に」～「ひ」

第２期　県内の建設業者及び測量・建設ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ等業者で営業年度(決算期)の終了が7月から9月までの業者

受付			受付対象業者	受付時間		受付場所			受付区分	
月	日	曜		午前	午後	名称	所在地	電話番号	午前	午後
12	21	木	栃木土木事務所管内	9:00～11:00	1:00～3:00	下都賀庁舎　福利厚生棟	栃木市神田町6-6	栃木土木☎23-3433	商号（名称）の頭文字が「あ」～「お」	商号（名称）の頭文字が「か」～「せ」
	22	金	〃	〃	〃	〃　〃	〃	〃	「そ」～「な」	「に」以降

※9月決算の業者の方で12月の審査期日までに書類が整わない場合は、各自の審査期日前に県監理課あてにその旨の文書を提出することにより、1月の特例審査を受けることができます。審査の日時、場所などは後日連絡します。

なお、本庁特例審査は9月決算業者の方のみが対象となりますので、それ以外の方は認められませんので十分ご注意願います。

◎ 県外に本社をもつ建設業者及び測量・建設ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ等業者の入札参加申請受付

☆提出方法　郵送受付のみ(持参では受け付けません)

☆提 出 先　〒320 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
栃木県土木部監理課建設業係（☎0286-23-2390）

☆受付期間　建設業者、測量・建設ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ業者等とも
平成7年12月1日～平成8年1月19日(消印有効)

くらしのみちづくり事業

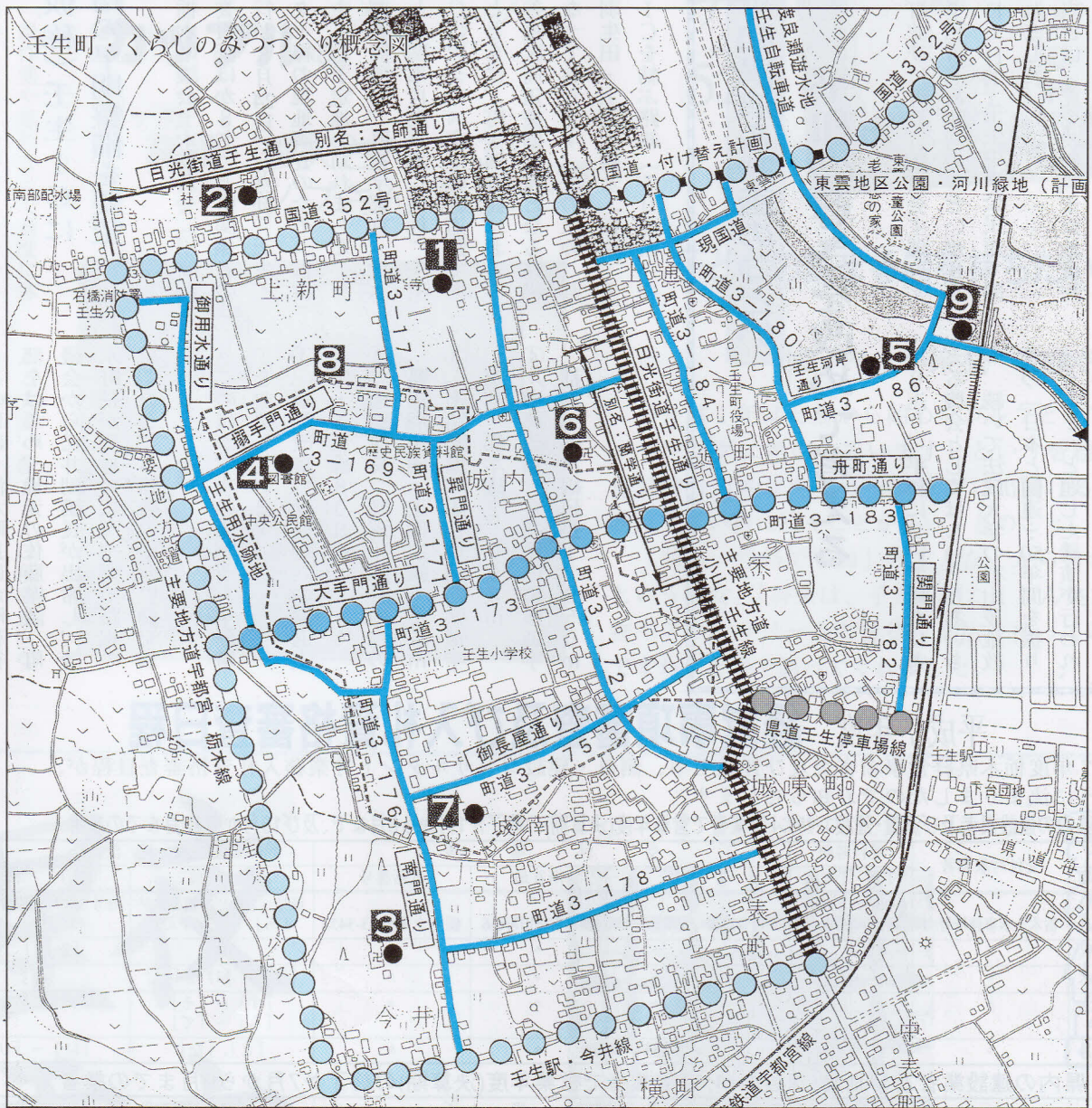
今年度より『大手門通り・御用水通り』の整備に着手

町では、旧壬生市街地のまちづくりの一環として、歴史・文化の中心であった壬生城を中心とした概ね１１０ｈａの地区の歴史的道すじの整備計画を進めていますが、今年度から、大手門通りと御用水通りの整備に着手いたします。

今回は「壬生町のくらしのみちづくり概念図」および「大手門通り・御用水通りの事業概要」についてご紹介いたします。

壬生町のくらしのみちづくり概念

前回（平成７年３月号）の「くらしのみちづくり事業」でご紹介しました「みちづくりの基本的方向」をもとに概念図に表すと次のようになります。



くらしのみちづくり凡例

- ■ 行政・文化・歴史のシンボルロードづくり
- ■ まちの顔のシンボルロードづくり
- ■ 旧壬生のまちの外郭シンボルロードづくり
- ■ たくさんの人々で賑わう買物のみちづくり
- ■ 人々の生活を支え身近な歴史・文化とふれあうみちづくり

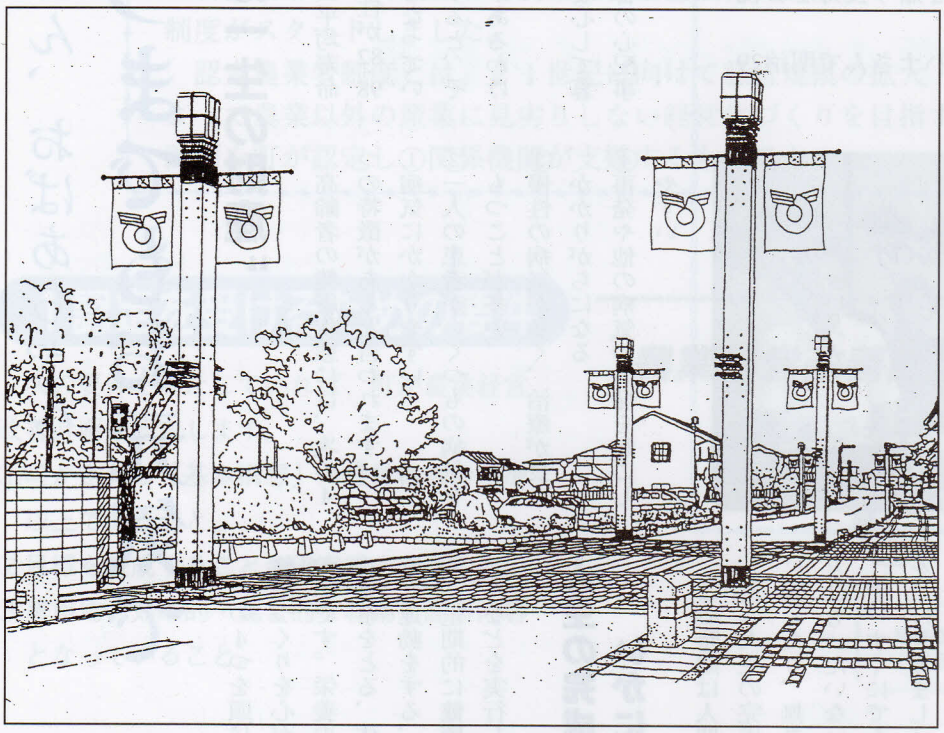
歴史的・文化的資源凡例

- 1 常楽寺 ●壬生家歴代の墓（町指定史跡）
- ●鳥居家累代の墓（〃）
- 2 壬生寺 ●慈覚大師（じかくだいし）誕生地
- ●壬生寺の大イチョウ（県指定天然記念物）
- 3 興生寺 ●興生寺の大カヤ（町指定天然記念物）
- 4 精忠神社 ●畳塚（たたみづか）
- ●干瓢彰徳の碑（かんぴょうしょうとくのひ）
- 5 雄琴神社 ●銅製鳥居（県指定有形文化財）
- ●楼門
- 6 興光寺 ●谷郡太夫（たにぐんだゆう）の墓
- 7 豊栖院 ●雪耕山人の 碑（せっこうさんじんのそう）
- 8 壬生城址 [-------]
- 9 壬生河岸跡（中河岸）

大手門通り・御用水通り事業概要

▷大手門通り（町道３－173号線）【整備予定期間５年、延長約650m】

大手門通り（町道3-173号線）：城址公園前の整備イメージ



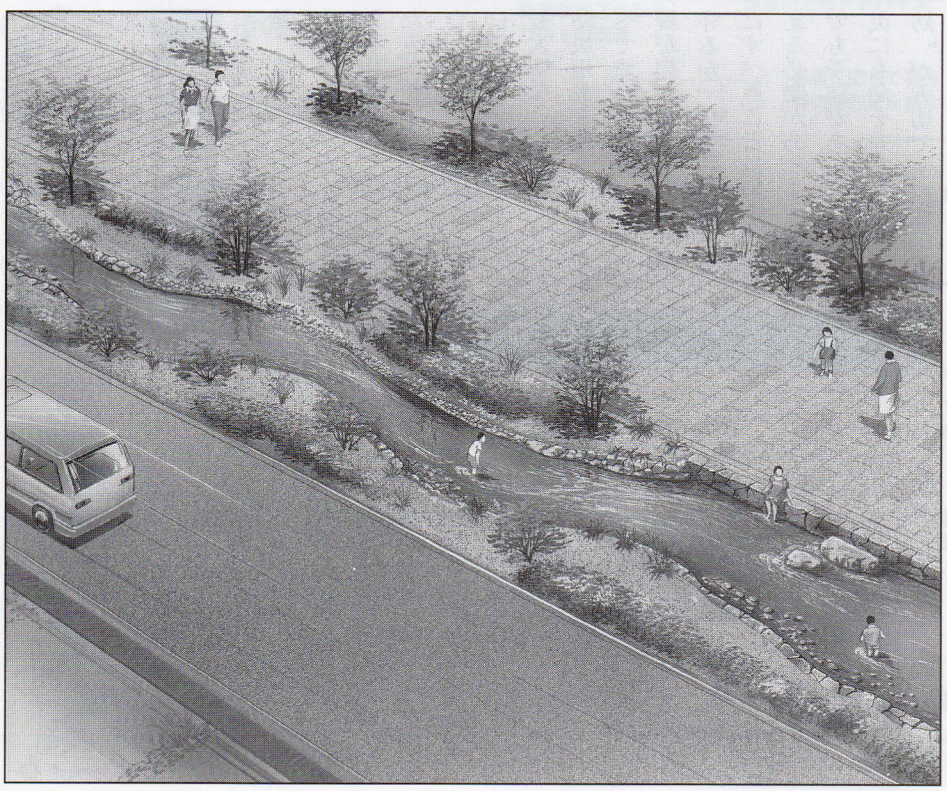
壬生城の正庁へ通じる道すじであった大手門通りを、“行政・文化・歴史の拠点を彩る道”づくりをテーマに、城址などの歴史をイメージさせた通りとするため、次のとおり整備を行います。

①街路灯やボラード（車止め）、および名称や由来を伝える案内サイン、その他舗装素材等を城のメインストリートにふさわしい通りになるよう考慮し、設置する。

②歩道およびコミュニティ空間を最大限に確保し、行政・文化歴史のシンボルロードとなるよう、歩行者がゆとりと安全を備えたみちづくりを行う。

▽御用水通り（町道３―１７０号線）【整備予定期間５年、延長約８００m】

御用水通り（町道3-170号線）：整備イメージ



壬生用水は城内の生活用水として引き入れられ、夏期は灌漑用水、冬季は防火用水として活用されました。

その壬生用水跡地付近を“楽しく歩ける散策路”“自然環境との共生”をテーマとして、次のとおり整備を行います。

①壬生用水の復元を図りながら、通学路としても機能するような、楽しく歩ける散策路として再現する。

②ホタルや魚などが生息する自然環境を確保し、見て・触れて楽しめる散策路をつくる。

おじいちゃん、おばあちゃん いつまでもお元気で

"健康は一生の財産"

平成6年度の日本人の平均寿命は、男性が76・57歳、女性が82・98歳で、世界一の長寿国となっています。60歳で定年退職すると、その後約20年近くの人生があるわけです。

この時期を楽しく、安心して暮らしていくうえで、一番の心配事は「健康」です。

高齢者の健康状態には、次の4つの特徴があると言われます。

①病気にかかりやすい
②一人の患者がいくつもの病気をもつことが多い
③慢性の病気が多く、治療が長くかかりがちになる
④再発や他の病気の併発を起こしやすい

この4つを頭において、日々の健康づくりを心がけていくことが大切です。栄養のバランスを考えた食事をとる、体操や散歩など適度な運動をする、十分な休養をとる、定期的に健康診断を受ける、ことなどを実行しましょう。

人生の完成期を いかに過ごすか

この時期は人間として最も充実した「人生の完成期」です。孤独に陥ったり、無為な日々を送ることはもったいないといえます。そこで、すぐにでもはじめられる例を挙げてみましょう。

◇長く続けられる趣味をもつ
◇地域でボランティア活動を

これらは、一つの例です。「何を生きがいにするか」ということを考えて、少しずつでも行動を起こしましょう。

長寿を祝う

町長の高齢者訪問

90歳以上のお年寄りの長寿を祝って、8月22日・23日・24日・25日の4日間、町長の高齢者訪問が行われ、町長、助役、収入役、民生部長が90歳以上、117人のお宅を訪問し、記念品を贈り長寿をお祝いしました。

町の最高齢者は、中表町の和貝ハナさんで明治29年5月14日生まれの99歳です。

町内最高齢の和貝ハナさん（99歳）〔写真中央〕

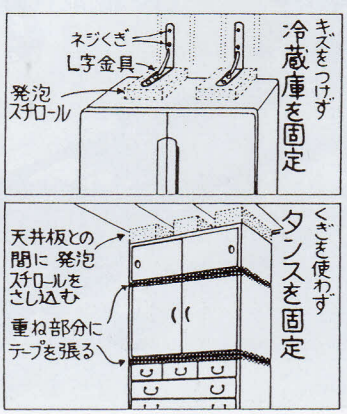
家庭の地震対策〈図解〉 いざというときの行動ヒント集

命を守る①

地震に対する備えについて「地震に強くなるように建物を補強するにはお金がかかる。では、まず防災用品をそろえておこう」といった方が多いのではないでしょうか。たしかに、ふだんから地震に備えるということはとても大切なことです。しかし、防災用品を備えることがすべてではありません。「地震が起きたときにどう命を守るか」「地震が起きる前にすべきことは何か」を考える必要があります。医療でも予防があるように、防災にも命を守るための"予防"が大切です。住宅そのものも健康診断を受け、弱いところは補修する―当然費用はかかりますが、命とお金は引き替えられません。

津波や火災といった二次災害を除けば、地震で亡くなる人は建物や家財道具の下敷きになるケースがほとんどです。阪神・淡路大震災でも「テレビやタンスが2～3メートルも飛んできた」など、ふだんの生活で使っているものが、一瞬にして凶器に変わってしまうのです。つまり、家そのものはもちろん、タンスや本棚、テレビといった家財道具が、揺れが収まる間、あるいは安全な所へ避難するまで倒れてこなければ、それだけ命が助かる確率が高くなるのです。では、そのヒントをイラストでみてみましょう。

家財道具を固定する



こうしたほんのちょっとの工夫が、命を守るポイントになってきます。

地震はいつ、どこで起こるか分かりません。ですから、地震に対する備えも生活時間に長い場所を優先したり、寝ているときは無防備ですので寝室からはじめたり、あるいは一つの部屋だけは安全な空間にしたり、それぞれの家庭の状況で考えて実行に移してください。

平成７年度 長寿番付表

〔平成７年９月１日現在　ただし年齢については平成７年12月31日現在〕(敬称略)

《亀》				番付	《鶴》			
町内	生年月日	年齢	氏名		氏名	年齢	生年月日	町内
中表町	明治29年５月14日	99	和貝ハナ	横綱				
仲通町	明治30年２月26日	98	長島ハツ	大関	木村ナカ	98	明治30年２月25日	至宝町北
仲通町	明治30年６月17日	87	橋本ハナ		川又ムメ	97	明治31年３月27日	中泉
原坪	明治32年６月28日	96	鈴木キセ	関脇	福山さつ	96	明治32年７月18日	しもつけ荘
三好町	明治33年11月３日	96	菅野ヨネ		長戸ヤエ	95	明治33年１月14日	しもつけ荘
栄町	明治33年２月６日	95	前原トシ		佐藤ツネ	95	明治33年３月30日	安塚南郡
中泉	明治33年４月１日	95	上田タミ		田中フミ	95	明治33年５月15日	上通町
栄町	明治33年10月14日	95	鈴木子之吉					
下町	明治34年１月14日	94	神長キン	小結	新本春吉	94	明治34年１月30日	上表町
上新町	明治34年２月１日	94	大柳アサ		関本国平	94	明治34年２月７日	東下台
国谷中央	明治34年５月10日	94	石村ハナ		鈴木長	94	明治34年７月15日	下横町
原坪	明治34年８月２日	94	鈴木トヨ		田中ヨシ	94	明治34年９月11日	至宝町南
上表町	明治34年９月21日	94	鈴木チカ		賀長アキ	94	明治34年10月17日	下町
北小林	明治34年10月25日	94	藤栄ベン		白倉シズエ	94	明治34年10月28日	栄町
上田	明治34年12月12日	94	飯塚キクノ					
釜ヶ渕	明治35年６月１日	93	出井スイ	前頭１	坂本寶重	93	明治35年６月13日	旭町
台坪	明治35年８月13日	93	山川キク	2	清水トラ	93	明治35年８月22日	下坪
福和田	明治35年９月14日	93	黒川ミヨ	3	荒川キン	93	明治35年９月20日	上新町
下町	明治35年12月６日	93	賀長ヤス	4	舩田ツル	93	明治35年12月20日	安塚中央
六美南第２	明治35年12月20日	93	渡邊寅八	5	出井倉一郎	92	明治36年１月17日	釜ヶ渕
しもつけ荘	明治36年１月18日	92	福田徳太郎	6	河野辺英	92	明治36年２月８日	しもつけ荘
しもつけ荘	明治36年２月27日	92	青木ヨシエ	7	中村きよ	92	明治36年３月１日	中表町
万町	明治36年３月15日	92	上野キヱ	8	大関ハマ	92	明治36年３月17日	上町
六美町北部	明治36年３月26日	92	篠崎テウ	9	鈴木レン	92	明治36年３月28日	壬生下馬木
稲葉下木馬	明治36年４月25日	92	坂田ハツ	10	二宮つね	92	明治36年６月５日	下表町
下横町	明治36年６月28日	92	鈴木ハツ	11	佐藤ツネ	92	明治36年７月18日	中泉
上通町	明治36年７月20日	92	奈良部峯吉	12	宇都見ミネ	92	明治36年10月10日	東下台
舟町	明治36年10月16日	92	宇賀神タネ	13	岩崎キヨ	92	明治36年10月21日	安塚１
国谷本田	明治36年11月５日	92	野口ともよ	14	人見ヨシ	92	明治36年11月７日	栄町
しもつけ荘	明治36年11月14日	92	飯田エイ	15	高山キン	92	明治36年11月17日	国谷新田
至宝町北	明治36年12月１日	92	戸館喜一	16	山中キヨ	92	明治36年12月14日	安塚２
北小林	明治36年12月16日	92	鈴木シン	17	栗原タネ	91	明治37年１月13日	三好町
東下台	明治37年２月１日	91	赤木四郎	18	橋本一郎	91	明治37年２月10日	馬場
下町	明治37年２月12日	91	落合ツル	19	横倉キヨ	91	明治37年２月20日	上町
下町	明治37年３月28日	91	三上ノヨ	20	石塚正義	91	明治37年３月20日	壬生下馬木
上長田	明治37年４月17日	91	横山サト	21	森田マス	91	明治37年４月15日	上田
本郷	明治37年６月12日	91	杉山こと	22	風間スイコ	91	明治37年４月25日	幸町１丁目
城南	明治37年７月２日	91	川俣キク	23	宇賀神タカ	91	明治37年６月26日	幸町３丁目
安塚２	明治37年８月17日	91	石島タツ	24	入江七五郎	91	明治37年８月４日	中泉
しもつけ荘	明治37年９月19日	91	篠原テル	25	榊原ミツ子	91	明治37年８月28日	六美町北部
西高野	明治37年10月24日	91	甫坂ササイ	26	小倉ヨシ	91	明治37年９月21日	本郷
至宝町南	明治37年11月25日	91	高山マサ	27	戸崎トキ	91	明治37年10月10日	旭町
中泉	明治37年12月24日	91	斎藤マイソ	28	若林タメ	91	明治37年11月18日	釜ヶ渕
本郷	明治38年１月15日	90	板子長巳	29	臼井トキ	91	明治37年12月１日	中泉
東下台	明治38年２月13日	90	海老澤継	30	石村キセ	90	明治38年１月15日	国谷中央
福和田	明治38年３月１日	90	大豆生田金一郎	31	石塚正忠	90	明治38年２月10日	壬生下馬木
国谷中央	明治38年３月15日	90	赤羽根恒称	32	高橋キチ	90	明治38年２月26日	しもつけ荘
緑町３丁目	明治38年４月10日	90	塩沢操	33	渡邊岩五郎	90	明治38年３月５日	国谷外道
城南	明治38年４月25日	90	湯沢イク	34	鈴木タメ	90	明治38年３月27日	安塚２
下表町	明治38年５月15日	90	岸きくの	35	松本志ん	90	明治38年４月14日	下表町
城南	明治38年５月22日	90	若井眞平	36	折原林松	90	明治38年５月１日	本郷
原坪	明治38年６月15日	90	小嶋トミ	37	高山タケ	90	明治38年５月18日	西高野
安塚３	明治38年６月27日	90	渡邊チカ	38	松本フヂ	90	明治38年６月３日	城内
馬場	明治38年９月２日	90	井上徳治	39	鈴木理一郎	90	明治38年６月18日	安塚１
原宿	明治38年10月15日	90	黒川タケワ	40	安生ナヲ	90	明治38年８月５日	栄町
馬場	明治38年11月３日	90	橋本キン	41	前原廣吉	90	明治38年９月13日	田向
福和田	明治38年12月１日	90	安納ゲン	42	坂本たか	90	明治38年10月25日	緑町４丁目
鹿島	明治38年12月５日	90	鯉沼ワカ	43	荒川ソヨ	90	明治38年11月22日	上町
				44	三品啓吉	90	明治38年12月１日	至宝町北
				45	栗原マサ	90	明治38年12月23日	落合
				46				

農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想

概要

平成4年6月農林水産省は、21世紀に向けての農政の基本的方向を「新しい食料・農業・農村政策の方向」（新政策）として示しました。

この「新政策」を受けて、平成5年8月、「農業経営基盤強化促進法」が施行されましたが、その中で市町村は、農業構造の現状とその将来（概ね10年後）を展望し、農業が他産業並の所得と労働時間により、職業として選択できる魅力とやりがいのあるものとなるよう、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」を策定することになっています。

このため本町では、このほど「農業経営基盤の基本的な構想」（基本構想）を策定し、県の承認を受けました。

この「基本構想」は、これからの本町農業施策の基本となりますので、その概要をお知らせします。

○「基本構想」では、まず本町農業の現状として、主に次の3点を課題としました。

①就業の機会の増大による兼業化が進み、特に土地利用型農業（水稲作）の担い手不足が深刻化しています。

②農地の資産保有意識が高く、農地の流動化が思うように進んでいません。

③農業従事者の高齢化が顕著です。

○これらの課題を踏まえて、町は次のとおり「望ましい農業経営及び農業構造の目標」を掲げました。

①年間農業所得として、専業農業者が、地域における他産業従事者並の生涯所得に相当する額で主たる農業従事者一人当たり800万円程度、一経営体あたり1，000万円としました。

②年間労働時間として、主たる農業従事者一人あたり2，000時間としました。

③農業経営の目標を達成するため、次のような営農類型をモデルとして示しました。

ア、個別経営体（14種類）

類型例は下表のとおりです。

イ、組織経営体（2類型）

類型例は下表のとおりです。

○これらの目標が達成されるよう、町は次の施策を中心に実施して行きます。

ア、意欲ある農業者や生産組織については、認定農業者制度を通じて、その育成・確保に努めます。

イ、土地利用型農業については、農地銀行活動を積極的に展開し、農地流動化推進委員による農地の掘り起こし活動を強化して、利用権の設定・農作業の受委託を促進します。

ウ、土地基盤の整備については、引き続き重点施策とし、ほ場の大区画化、用排水施設等の整備を図ります。

エ、認定農業者等に対する先端技術の導入、生産方式や経営管理の合理化等の指導及び研修会の開催等を行う経営改善支援のための体制整備を図ります。

経営類型（モデル）

	個別経営体														組織経営体	
経営類型名	①水稲（10ha）＋二条大麦（3ha）＋小豆又は大豆（3ha）	②いちご（0・4ha）＋冬春トマト（0・45ha）＋秋きゅうり（0・2ha）	③にら（0・7ha）＋千瓢（0・8ha）＋ホウレン草（0・6ha）＋牛蒡（0・6ha）＋水稲（4ha）＋二条大麦（3ha）	④ナシ（2・5ha）	⑤きく（0・5ha）	⑥バラ（0・25ha）	⑦鉢物（0・2ha）	⑧洋ラン（0・2ha）	⑨乳牛（成牛40頭、育成牛15頭、飼料作物7ha）	⑩肉牛（常時飼育80頭、出荷肉牛40頭）＋水稲（3ha）	⑪豚（繁殖100頭、出荷豚200頭）	⑫採卵鶏（常時成鶏一万羽、年間育成8750羽）＋水稲（4ha）	⑬水稲（20ha）＋二条大麦（10ha）＋小豆又は大豆（10ha）	⑭水稲（40ha）＋二条大麦（20ha）＋小豆又は大豆（20ha）	⑮水稲（40ha）＋二条大麦（20ha）＋小豆又は大豆（20ha）	⑯水稲（60ha）＋二条大麦（30ha）＋小豆又は大豆（30ha）
経営面積	13ha	0.45ha	5.4ha													

活用しよう認定農業者制度

新政策を受けて成立した農業経営基盤強化促進法による、新しい認定農業者制度がスタートしました。

認定農業者制度とは、２１世紀に向けて経営規模の拡大・集約化、複合化によって農業以外の産業に見劣りしない経営体づくりを目指す者の農業経営改善計画を町が認定し、関係機関が支援するものです。

１認定を受けるための要件

次の要件を満たしていれば、町が農業経営改善計画を認定します。

①町が定める「基本構想」の経営指標の水準以上であること。

②目標を達成することが確実視されること。

③農用地の効率的・総合的な利用を図る内容となっていること。

２認定を受けた場合のメリット

認定農業者になると、次のようなメリットがあります。

①農用地の利用集積の支援

②農業生産法人出資育成事業

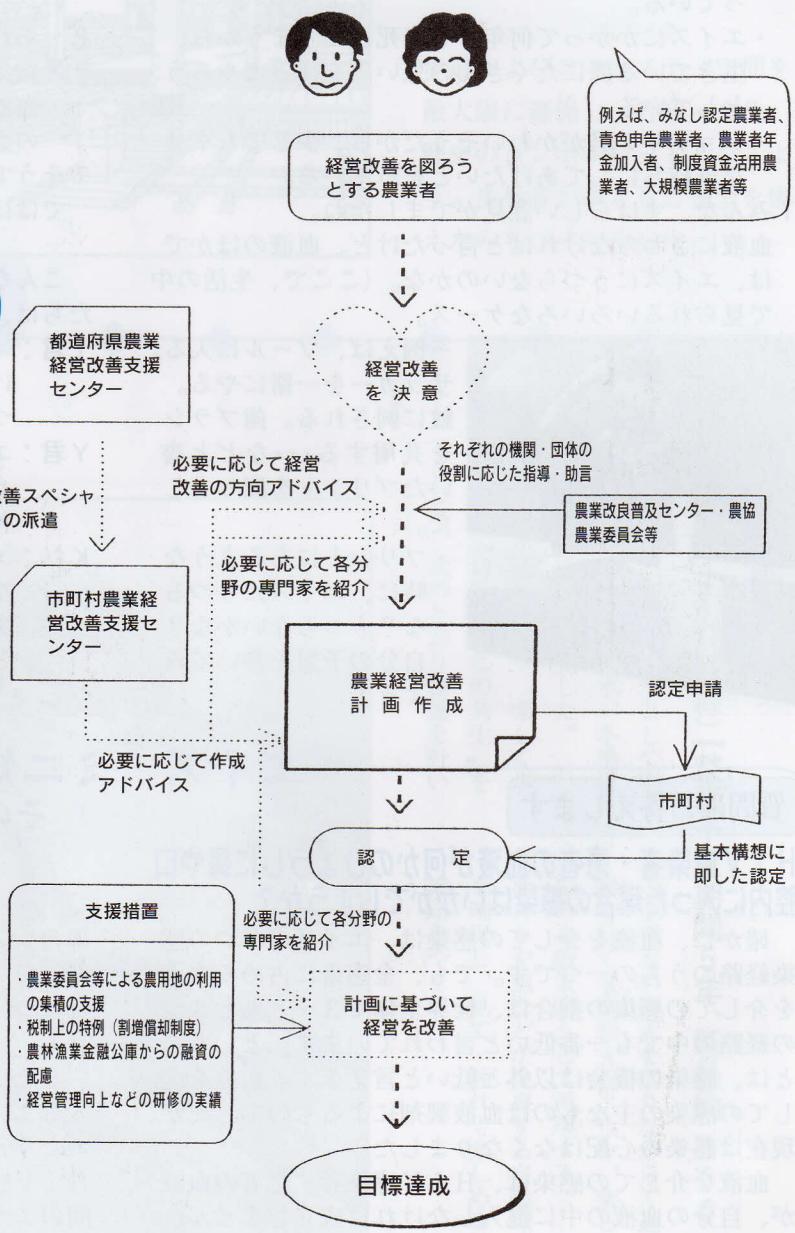
③税制上の特例（機械などの割増償却）

④融資の優遇
（認定農業者のための新融資制度の発足）

⑤経営改善のための研修などの実施

※詳しくは、町経済部農務課（☎82－１２３４内線１６７）へお問い合わせください。

農業経営改善計画認定制度の仕組み



STOP AIDS 考えてみませんか！

お子さんの性教育・エイズ教育を

壬生町エイズ教育（性教育）推進委員会

小学４年生のエイズ授業

エイズの授業がどのように行われているか、具体例を示してみます。町内の小学４年生の授業の様子です。

（Ｔは先生、Ｐは児童）

Ｔ（子どもたちにエイズウィルス感染者のジョナサン君とまわりの友だちや家族とのふれあいを取ったビデオを見せます。－友だちも家族もジョナサン君に普通に接しています－）

・ここで質問。まわりの人はどうして平気でジョナサン君といるの？

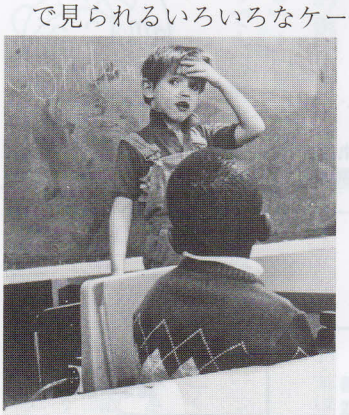
Ｐ・ジョナサン君の血液にさわらなければ平気だと思っている。

・エイズにかかって何年かして死んでしまうから、生きている間にたくさんの思い出を作ってやろうとしている。

・ジョナサン君がかわいそうだから、少しでも幸せな気持ちにしてあげたいと思っている。

Ｔみんな、すばらしい意見がでましたね。

血液にさわらなければと言ったけど、血液のほかでは、エイズにうつらないのかな。（ここで、生活の中で見られるいろいろなケース。



－例えば、プールに入る。サッカーを一緒にやる。蚊に刺される。歯ブラシを共用する･･･などと書いたプリントを配りました。）

・プリントにあるような時に、エイズにうつるな？うつらないかな？自分の予想を書いてみよう。

Ｐ・エイズはツバの中は苦手だから、これはうつらないよね。

・あれ？蚊ではうつらないかな。

・野球だってうつらないからサッカーでもうつらないよ。（子どもたちはビデオのジョナサン君の生活ぶりなどをヒントに一生懸命考えていました）

Ｔみなさん、いろいろな理由からうつるとか、うつらないとか考えていましたね。では、これから答えとその理由を書いたプリントを配ります。これを使って自分の考えがあっているか、どうか調べてください。

Ｐ・あれ、エイズは水に弱いんだ。

・空気や熱にも弱いんだ。

・血液だけが心配だけど、普通の生活じゃ、他の人の血と自分の血が合わさるという心配ないよ。

Ｔそうですね、血液でうつると言っても、普段の生活ではほとんど心配ないんだね。

こんなふうに、授業が進みました。授業後に子どもたちは、次のような感想を書きました。

Ｔ君：エイズは近くにいただけでうつると思っていたけど、他の人の血と自分の血がふれなければうつらないので安心しました。

Ｙ君：エイズは怖いけどうつらないのがほとんどで安心しました。ビデオで子どもたちがエイズでも仲良くしていたので優しいと思いました。

Ｋさん：エイズはすぐにうつると思っていたけど、水や空気や熱に弱いと知って驚きました。これから、あまりエイズのことは怖がらないようにしようと思いました。

エイズ　ミニ知識　その19

監修　栃木県伝染病予防調査協議会会長
栃木県連合学校保健会会長
松　本　　幸　三

質問にお答えします

ＨＩＶ感染者・患者の血液が何かのひょうしに鼻や口腔内に入った場合の感染はいかがでしょうか？

確かに、血液を介しての感染は、エイズの３つの感染経路のうちの一つです。でも、全感染に占める血液を介しての感染の割合は、世界全体で３～５％と３つの経路の中でも一番低いと言われています。ということは、感染の機会は以外と低いと言えます。血液を介しての感染の主なものは血液製剤によるものでしたが、現在は感染の心配はなくなりました。

血液を介しての感染は、ＨＩＶ感染者・患者の血液が、自分の血液の中に混入しなければ成立しません。

人間の体は、外からの病原体に対してさまざまな防御のシステムをもっています。全身を覆う皮膚もその一つです。ＨＩＶ感染者・患者の血液がたとえ自分の身についも健康な皮膚があれば感染することはありません。

また、鼻や口腔内の粘膜も同じ働きをしていると言ってもよいでしょう。ですから、皮膚や粘膜に傷ついていたり、ただれたりしていなければ、そして、そこにＨＩＶ感染者・患者の血液が多量に付かなければ、質問のような心配はまずないと考えてよいでしょう。

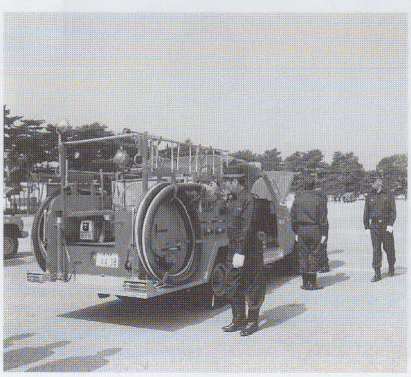
"きわめて良好"

町消防団夏期点検を実施

火災などの非常時に対応し、防災活動に万全を期すため、町消防団（梁島安男団長以下203名）の夏季点検が8月1日、町総合運動場で行われました。

点検は、午前8時30分清水町長の点検者宣言によって開始され、梁島団長の指揮のもと、人員並びに服装点検、機械器具の点検、ポンプ操法など、焼けつくような暑さにも負けずに規律正しく機敏な動作で展開され、点検者より「きわめて良好」であるとの講評訓示がありました。

消防団は、住民の尊い生命と財産を守るため、日頃訓練に励んでいます。郷土愛の精神で活動する消防団にご支援をお願いいたします。



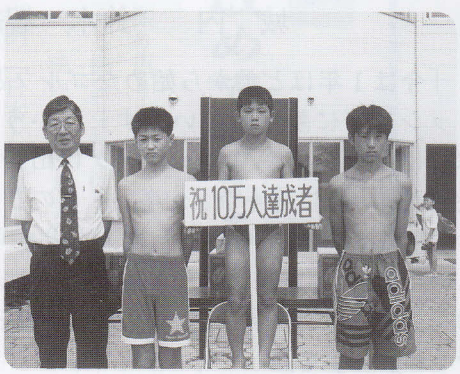
機械器具点検のようす

ふれあいプール

8/30 入場者10万人超える

7月23日の梅雨あけと同時に続いた猛暑で、黒川の里ふれあいプールには連日大ぜいの方が入場し、8月30日に今年ののべ入場者数が10万人を超えました。

めでたく10万人目となった宇都宮市東浦町の緑が丘小4年生片山和紀くんは兄と友人の5人でふれあいプールに来たそうで、和紀くんとその前後となった兄の裕介さんと友人の上田圭一さんに清水町長や榎本教育長からプール優待券などがプレゼントされ、和紀くんは「10万人目となれてとてもうれしいです」、裕介さんは「突然のことでびっくりしました」、上田さんは「今日は自分の誕生日なのでよい記念になりました」と喜んでいました。



写真右から片山裕介さん、片山和紀くん、上田圭一さんと清水町長

資料館コーナー

蘭学通りに活躍した明治期の医師たち(5)

渡辺　百（わたなべ　ひゃく）

○邸宅は、現在の「小倉内科医院さん」です。

曾祖父・温佐（おんさ）、祖父・宗玄（そうげん）、父・元良（げんりょう）と代々壬生藩鳥居家に医術をもって仕えました。

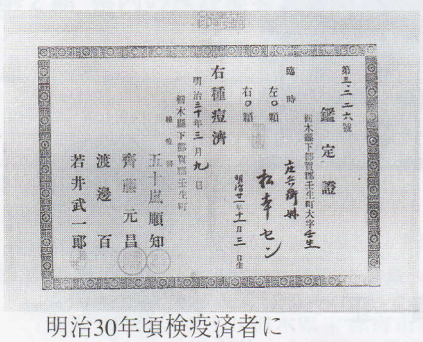
百は、渡辺元良（一平）の長男として生まれ、1868年（明治元年）壬生藩の命令によって、東都の儒者田口文蔵に従い漢学を修め、1872年（明治5年）福沢諭吉が主催する慶応義塾に入門し英学を研究し、また、1874年（明治7年）には近藤真琴（こんどうまこと）の主催する塾に入門し算数学を学びました。その後、1877年（明治10年）に栃木県立病院及び栃木県立医学校に勤務しました。翌年、宇都宮県立病院に転勤し診断課兼薬剤課監督となりましたが、1879年（明治12年）に退職し郷里の壬生町に開業しました。

この頃、全県下にコレラが流行し渡辺　百は栃木県検疫医を拝命し（この時の検疫医は、壬生からは五十嵐順知、齋藤元昌、神戸察、勾坂重利の5名がいる）コレラの治療と予防にあたりました。再び、1882年（明治15年）にコレラが流行し検疫医となり患者救療のため尽しました。

なお、1889年（明治22年）自治制施行に際し町議会議員に選任され、1894年（明治26年）には壬生町長を歴任されましたが病気のため就任僅か2か月にして辞職に至りました。その後、1898年（明治30年）から齋藤元昌、五十嵐順知、若井武一郎とともに壬生町種痘医として天然痘予防と治療に尽しました。

百は、1913年（大正3年）62歳で没しました。

次回は、市川寅吉翁です。



明治30年頃検疫済者に発行された鑑定証

い広場

お達者カップル80

釜ヶ渕
髙橋　俊夫さん(73)
　　ノブさん(69)夫妻

「農作業や旅行などで適度に体を動かしているのが健康のひけつかもしれませんね」という髙橋さんご夫妻。俊夫さんは稲葉地区受検組合の副会長をしています。俊夫さんは昭和11年に稲葉尋常

青春スケッチ52

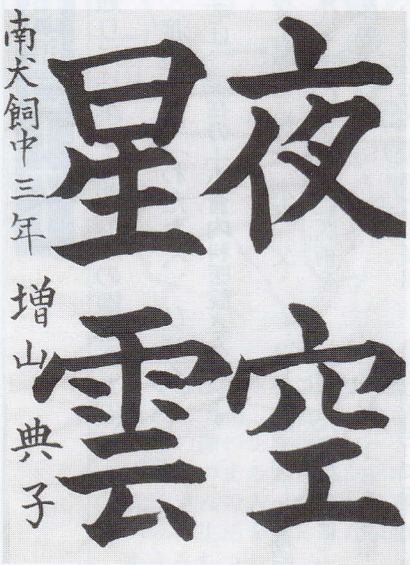
子どもの集まる店を持ちたい

城内　鈴木　智絵さん

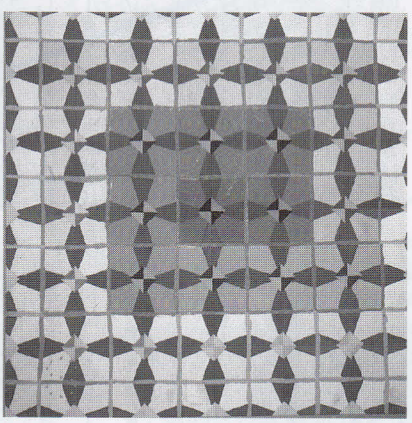
「今は1年ほど前から始めたゴルフとルアーフィッシングに熱中しています」という智絵さん。休日は「ゴルフやフィッシングに出掛けるほか、映画や買い物に行くことが多い」とのこと。

「明るい性格ですね」と友人などから言われるという彼女、「将来は、子どもがたくさん集まる小物やアクセサリーなどを扱うお店を持ってみたいですね」と夢を語ってくれました。

私の作品



南犬飼中学校3年
増山典子



南犬飼中学校1年
野口貴正

ふれあ

何ごとにも熱心なテイラーさん

新任ＡＬＴ紹介

英国文化を紹介したい

リチャード　テイラーさん（イギリス）

町の新任外国語指導助手（ＡＬＴ）であるリチャード　テイラーさん（21歳）はイギリスのハイ・ウイコム町の出身で、ノティングハム国立大学に在学中は機械工学を専攻し、日本の文化などについても３年間勉強しました。

また、在学中に一度日本を訪れており、このときに日本人や日本の文化が好きになり、「卒業したらＡＬＴになりたい」と思ったそうです。大学を卒業後すぐにＡＬＴを希望し７月に来日、８月から壬生中央公民館などで英会話を教えていましたが、９月からＡＬＴとして壬生中と南犬飼中で英語を教えています。

何ごとにも熱心に取り組むテイラーさん、「どれだけ教えられるか不安もありますが、精いっぱいがんばります。授業を通じてイギリスの生活や遊び、スポーツなどについても紹介していきたい」と抱負を語ってくれました。

高等小学校を卒業後、家業である農業に従事しましたが、昭和17年に召集を受け、昭和18年に福島県会津若松市の東部24部隊に入隊、同年３月から満州に渡り、終戦後の昭和21年に日本に戻り、実家で農業を再開しました。

その後、家内村（現都賀町）出身で合戦場尋常高等小学校を卒業後、俊夫さんと同じく実家で農業をしていたノブさんと昭和23年に結婚、その後もお二人は農業を続け、現在も米や麦、いちごなどをつくっており、「もう50年以上農業を続けていますね」と話していました。

俊夫さんは植木を40年ほど前から始めたそうで、さし木をして小さいころから30年以上育てた立派なゴヨウマツやチャボヒバなどが庭に植えてありました。

また、ノブさんは花の栽培を20年以上続けており、百日草やグラジオラスなどが庭にたくさん植えてありました。その他、野球を観るのが好きで、東京ドームに家族で観戦したこともあるそうです。

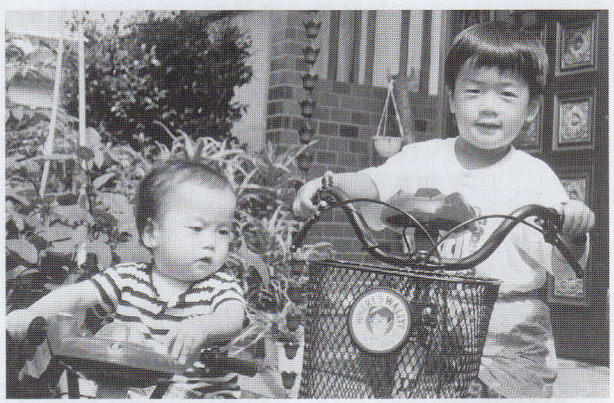
旅行が好きで年に５、６回は出掛けるというお二人、「家族がしっかりしてるから安心して旅行に行けるんですよ」と幸せそうに話していました。

チビッ子アルバム

梓（あずさ）ちゃん（２歳・左）・翠（みどり）ちゃん（７歳・右）
（父）斎藤　英彦さん
（母）〃　敦子さん（駅東）

お母さんから一言

ケンカをしてもすぐ仲直りできる姉妹になってね。


涼（りょう）ちゃん（１歳・左）・弘樹（ひろき）ちゃん（４歳・右）
（父）宮沢　隆司さん
（母）〃　範子さん（六美町北部）

お母さんから一言

明るく素直な子に育ってください。

女性ドライバー安全運転競技大会

団体・個人にすばらしい活躍

第16回栃木地区女性ドライバー安全運転競技大会が8月28日、栃木市の栃木県南自動車学校で開かれ、栃木市など1市4町から11チーム（MT車1名・AT車1名の2名1組）が参加して行われました。

本町からは、8月4日の町の大会において入賞した町女性ドライバークラブ（人見イハ会長）の2チーム4名が出場、団体の部で1位、3位また個人の部でも2位、3位に入賞するなど、すばらしい成績をおさめました。

成績

【団体の部】

優　勝　壬生町女性ドライバークラブA
　チーム〔石村セツ子（MT）、
　二瓶美恵子（AT）〕

第三位　Bチーム〔永倉恭子（MT）、
　石澤裕子（AT）〕

【個人の部】

・MT車の部
第三位　石村セツ子

・AT車の部
準優勝　二瓶美恵子
第三位　石澤　裕子

なお、個人成績上位者は、10月1日の県大会に出場します。

すばらしい活躍をみせた
壬生町女性ドライバークラブ
チーム

かんぴょう踊りでむらづくり

8月26日、藤井むらづくりかんぴょう踊り大会実行委員会（小谷野幸作会長）主催のかんぴょう踊り大会が、藤井小学校校庭で行われました。

同大会は、伝統文化の伝承保存と地域の活性化を図るため、藤井むらづくり推進協議会が中心となって藤井地区6自治会や各種団体とで実行委員会を組織し、4年前に復活したものです。

会場には、地区内外からたくさんの人たちが訪れ、浴衣姿の子どもたちからお年寄りまでかんぴょう踊りを楽しんでいました。また、藤井小5・6年生によるかんぴょう音頭のおはやしも発表されるなど、伝統文化が若い世代に引き継がれています。

戦後50年を迎え　さらなる平和を願う

50回目の終戦記念日を迎えた8月15日、慰霊碑管理委員会（佐藤三郎会長）主催による平和祈願祭が東雲児童公園内（三好町）の戦没者慰霊碑前で行われ、猛暑のなか、町遺族会、軍恩会、日傷会など、約100名の関係者が出席しました。

先の大戦で祖国の礎となって身命を捧げた800余柱の英霊に対し、佐藤会長をはじめ、清水町長、榎本教育長などがあいさつを述べ、今日の平和と発展を感謝しました。

最後に、全国戦没者追悼式に合わせ、出席者全員で正午から1分間の黙とうを行い、さらなる平和を願いました。

奉仕作業で剣士三訓を実践

壬生町少年剣道教室

8月6日、平和祈願祭に先だち、壬生町少年剣道教室（三上義市師範）の生徒と父母約40名が東雲公園と慰霊碑周辺の清掃を行いました。

同教室では、剣士三訓の一つ「父母を愛し、町を愛し、国を愛する」の実践として毎年行っているもので、当日は炎天のなか、約2時間の奉仕作業にさわやかな汗を流しました。

夏祭り思い出アルバム②

'95睦サマーフェスティバル

８月５・６日の両日、おもちゃのまち駅東口広場を会場にして『'95睦サマーフェスティバル』が行われ、両日とも途中雨に見舞われながらも睦の芸能人集合、バンド演奏や踊りなど多彩なイベントでにぎわっていました。

ふるさとまつり

８月19・20日の両日、恒例のふるさとまつりが町総合運動場で行われ、延べ２万人の人たちでにぎわい、円仁太鼓やかんぴょう踊り、花火などに夏の夜を満喫していました。

鮮やかなバチさばきを披露した円仁太鼓

大勢の人でにぎわったふるさとまつり

安塚コミュニティ盆踊り大会

８月５・６日の両日、安塚地区コミュニティ恒例の盆踊り大会が安塚小学校校庭で行われ、自治会や育成会などからたくさんの踊り手が参加、かわいい浴衣を着た子どもたちが元気に踊っていました。

関東大会第３位

第23回関東中学校ソフトボール大会が８月７日から９日までの３日間、茨城県ひたちなか市那珂湊運動公園において関東（山梨県を含む）の精鋭16チームが参加して行われました。

本町からは、県予選を制した壬生中学校ソフトボール部が出場、１回戦で神奈川県代表の強豪有馬中学校と対戦、勝負強さを発揮し逆転勝ちを収め、準決勝まで勝ち進み、第３位に輝きました。

なお、全国大会は代表決定戦で惜しくも敗れ出場が成りませんでした。

文芸

文化協会文芸部選

短歌

一本を息子と分けて飲みほせるビールに少し酔いてしまいぬ　荒川　綾子

古豪とも初出場とも言うけれど甲子園選手はみんな高校生　角田　節子

達筆にて心こもれる友の手紙端折れるまでくりかえし読む　秋山　セン

「誕生日おめでとう」と手作りのピンクの手提げを孫のくれたり　奥村　トシ

俳句

風抜ける特別席の昼寝かな　鈴木佳世子

夕立雲見上げ立読みつづけおり　粂川　正枝

腕組みのついにくずれて昼寝夫　高山香代子

戦友よりも五十年生きて敗戦忌　鈴木　茂弥

児童文化教室

キャンプで楽しく宿泊研修

町教育委員会・町子供会育成会連絡協議会共催による児童文化教室（宿泊研修）が、嘉陽が丘ふれあい広場で8月3日から5日までの3日間にわたり行われ、町内の小学生73名が参加しました。

この教室は、「自然に親しむ子ども」、「体も心も強い子ども」、「仲良くくらせる子ども」を宿泊研修を通して育てようと毎年開催されています。

子どもたちは、町子連役員の方やJLCの皆さんの指導のもと、まず班のシンボル班旗を作成し、それから野外で飯ごうでのごはん炊きや班独自のアイディア料理に挑戦、また2日目はウォークラリーやキャンプファイヤー、3日目はスーパーキックベースボールなどを行い、楽しくも実りある3日間を過ごしました。

飯ごうを使ってごはん炊きに挑戦

手ほどきを受ける親子

埴輪づくりを指導

資料館友の会・はにわ会

はにわ会（町歴史民俗資料館友の会・人見治男会長）では、6月25日、7月30日の2日間、県立なす風土記の丘資料館の親子体験講座『埴輪づくり教室』において、会員10名が埴輪づくりの指導を行いました。

これは、埴輪について知り、成型、焼成の課程を通して古代人の生活や技術を学ぶとともに、親子が同一体験をすることにより、ふれあいを図ろうと県立なす風土記の丘資料館事業として行われたもので、会員たちは参加者に「踊る埴輪」の成型から火床作り、焼成まで手を取るように指導していました。

埴輪づくりを指導する荒川ヨシ会員（左手前）

自主講座生も一助

親と子のふれあいをはかる

壬生中央公民館の夏休み子ども教室のひとつである「親子ふれあい教室」が7月26日から8月17日まで4回にわたり行われました。

当教室はさまざまな文化活動を通じて親子のきずなを深めることを目的に3年前に開講、小学校4～6年生とその親を対象に、今年は料理、陶芸、七宝焼、茶道の講習を設けました。

最終日には「お茶に親しむ」をテーマに、親子12名が茶道に挑戦、茶道の基本的な礼儀作法を習得してもらおうと、当公民館自主講座の生徒14名が講師にあたり、参加した親子は茶の湯での座り方や飲み方などをひとつずつこなし、楽しく講習を受けていました。

寄付

（社会福祉協議会）

（○数字は寄付回数）

金1万2千105円④
am・pm壬生本丸店様
金1万2千149円㊷渡辺寅八様
金100円①　新里一郎様
金4万661円⑪
稲葉地区カラオケ愛好会様
金1万2千300円⑪
トミー労働組合栃木支部様
金83円①　佐藤史子様
金2万円④壬生町商工会婦人部様
金4万189円⑦
栃木県歌謡協会県南支部様
金1万1千94円㊸　渡辺寅八様

10月の納税等

●町県民税（3期）
●国民健康保険税（4期）
●国民年金（10月分）
（納期限10月31日）

納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。

まちのうごき

9月1日現在

総人口	40,044人	（△14）
男	19,767人	（△7）
女	20,277人	（△7）
世帯数	12,376世帯	（6）

（ ）内は前月比